

## 北陸公法判例研究会開催のご案内

梅雨のじめじめした天気が続いていますが、皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、この度、下記の日程で北陸公法判例研究会を開催致します。万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 記

日時：7月19日（土）午後1時30分から

場所：石川県教育会館4階第二会議室（香林坊1丁目、大和の裏：地図参照）

内容：【研究報告】

- ・山崎友也（富山大学） 「意に反する苦役禁止の現代的意義—裁判員制度を素材に」

《参考文献》

笹田栄司「憲法から見た裁判員制度」世界2008年6月号106頁以下。

西野喜一『裁判員制度の正体』（2007年）

緑大輔「裁判員制度における負担・義務と民主主義」法律時報77巻4号(2005年)40頁以下。

緑大輔「裁判員制度における出頭義務・就任義務と—『苦役』憲法18条との関係—」一橋法学2巻1号(2003年)305頁以下。

【研究報告】

- ・米田雅宏（金沢大学） 「危険概念の解釈方法—警察行政法の基礎理論構築に向けて」

《参考文献》

拙稿「危険概念の解釈方法(1)-(4・完)—損害発生の蓋然性と帰納的推論」自治研究83巻8号95頁・10号87頁・11号118頁（以上、2007）・84巻1号103頁（2008）。

山本隆司「リスク行政の手続法構造」城山英明/山本隆司編『環境と生命』（東京大学出版会・2005）3頁。

判例：東京高判昭和55年10月23日判時986号54頁、最判昭和57年1月19日民集36巻1号19頁

最判平成7年3月7日民集49巻3号687頁、宇都宮地判平成19年5月24日判時1973号109頁



今回は、9月20日の開催を予定しております。報告者を募集していますので、希望される方は東川までお知らせください。